

「第 28 回介護福祉士国家試験(午後)」の問題文および解答・簡易解説

＜2016 年 1 月 24 日(日) 実施＞

(問題文:2016 年 1 月 25 日掲載)

(解答・簡易解説:2016 年 1 月 30 日掲載)

区分	問題文 (第 28 回介護福祉士:午後)	やまだ塾の 解答・簡易解説
<領域: こころと からだの しくみ> 発達と老 化の理解	<p>問題 69 エリクソン(Erikson, E.)の発達段階説に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 誕生から 1 歳頃までは、自分の行動のコントロールを身につける段階である。 2 3 歳頃から 6 歳頃までは、自発的行動を通して主体性の感覚を学ぶ段階である。 3 12 歳頃から 20 歳頃までは、勤勉性を身につける段階である。 4 20 歳頃から 30 歳頃までは、心身共に自分らしさを身につける段階である。 5 30 歳頃から 60 歳頃までは、社会全体や他者への信頼感を持つ段階である。 	<p>②</p> <p>幼児後期(3 歳～6 歳頃)の発達課題は、「積極性 対 罪悪感」である。主体的に行動することが求められ(自発性)、これに躓くと罪の意識を感じるとされる</p>
	<p>問題 70 加齢に伴う筋肉の変化に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 70 歳代までは、筋肉量は維持される。 2 タンパク質をとることは、筋肉量の維持に有効である。 3 高齢期になってからの運動は、筋肉量の増加には無効である。 4 筋肉量の減少の主要な原因は、悪性腫瘍(malignant tumor)の合併である。 5 筋肉量の減少は、下肢よりも上肢の方が顕著である。 	<p>②</p> <p>タンパク質・アミノ酸・ビタミン D の摂取は、高齢者においても筋肉量と筋力の維持には有効である</p>
	<p>問題 71 A さん(70 歳, 男性)は、65 歳で定年退職した後、学生時代の旧友のほか、地域のボランティアサークルで知り合った新しい仲間と親交を深めてきた。しかし、サークルでトラブルが起きるようになって、1、2 年前からはサークルへの参加が徐々に減り、安心できる旧友とばかり頻繁につきあうようになった。A さん自身はこの生活に満足している。</p> <p>A さんの生活への適応状況を説明する理論として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活動理論 2 離脱理論 3 社会情動的選択理論 4 愛着理論 5 心の理論 	<p>③</p> <p>「社会情動的選択性理論」によれば、「社会活動の低下に対して、高齢者は肯定的感情を得やすい身近な人間関係を選択する一方、そのような感情を得にくい新たな人間関係を選択しないことで、主観的幸福感を維持すると考えられる。」と説明される</p>


	<p>問題 72 加齢の影響を強く受ける記憶として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個人の生活の中で生じる出来事や体験に関する記憶 2 学習や経験によって獲得された知識の記憶 3 スポーツなど、自分の体で覚える記憶 4 過去の社会的事件など、自分の体験とは直接関わらない記憶 5 人の顔や風景など、自覚せずに残されている記憶 	<p>① 「リボアの法則」では、「忘却は不安定な記憶から安定した記憶へ、新しい記憶から古い記憶へ、複雑な記憶から単純な記憶へ及ぶ」とされている</p>
	<p>問題 73 めまいや立ちくらみが時々ある高齢者への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 勢いをつけて立ち上がることを勧める。 2 首を左右に振る体操をすることを勧める。 3 降圧薬の服用を勧める。 4 抗不安薬の服用を勧める。 5 転んでもけがをしないように部屋を片づけることを勧める。 	<p>⑤ 転倒時を想定し、環境内の障害物は、除去または修正することが大切である</p>
	<p>問題 74 Bさん(82歳、男性)は、脳梗塞(cerebral infarction)の既往があり、右片麻痺がある。以前から食事にむせることがあった。半年前には、肺炎(pneumonia)で入院したこともある。昨日から元気がなく、食欲もなくて普段の半分も食べられない。呼吸数は1分間に24回、体温は37.4℃だった。</p> <p>Bさんに起こっていることとして、最も可能性の高いものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 脳梗塞(cerebral infarction)の再発 2 急性腸炎(acute colitis) 3 感冒(common cold) 4 誤嚥性肺炎(aspiration pneumonia) 5 胃潰瘍(gastric ulcer) 	<p>④ ・誤嚥性肺炎の典型的な症状は、①発熱、②激しい咳と膿性痰(黄色いタン)が出る、③呼吸が苦しい、④肺雑音がある、である ・加えて、炎症反応と胸部レントゲン写真で診断される</p>
	<p>問題 75 変形性膝関節症(knee osteoarthritis)と診断された高齢者への介護福祉職の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 膝を冷やす。 2 正座をする。 3 杖を使う。 4 体重を増やす。 5 階段の昇り降りの運動をする。 	<p>③(疑義のある問題である) 変形性膝関節症が進行した人や転びやすい場合には杖の使用は有効であると言われているが、医師の意見を求めないで介護福祉職が「杖を使うことを助言する」のが適切なのかどうか・・・</p>

	<p>問題 76 在宅医療に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主治医は、地域医療支援病院の医師でなければならない。 2 保健所は、在宅医療を受ける患者の支援を行わない。 3 在宅での静脈注射は、医師でなければ実施できない。 4 在宅での悪性腫瘍患者に対する緩和ケアは、保険診療の対象外である。 5 在宅療養支援診療所は、24時間往診が可能な体制を確保しなければならない。 	<p>⑤ 「在宅療養支援診療所」の要件には、「当該診療所において、24時間連絡を受ける医師又は看護職員を配置し、その連絡先を文書で患家に提供していること」が挙げられている</p>
認知症の理解	<p>問題 77 回想法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 記憶力の改善が最も期待できるのは、中等度の認知症(dementia)の人である。 2 認知症(dementia)の人に豊かな情動をもたらすことが期待できる。 3 過去の苦痛や困難な体験を思い出す手がかりを準備すると効果的である。 4 毎回異なる場所で行うと効果的である。 5 回想法に参加した家族介護者は、発症前を思い出してつらくなることが多い。 	<p>② 「回想法」の認知症者にとっての効果は、「昔を思い出すことが脳を活性化し、認知症から来る不安感や混乱を防いだり、精神を安定させ、認知機能を改善することに効果がある」とされている</p>
	<p>問題 78 厚生労働省が、2012年(平成24年)8月に公表した「認知症高齢者数について」における、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の居場所別内訳(2010年(平成22年)9月末現在)で、人数が最も多い居場所を1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 居宅 2 介護老人福祉施設 3 介護老人保健施設・介護療養型医療施設 4 グループホーム 5 医療機関 	<p>① 居宅(140万人)、介護老人福祉施設(41万人)、医療機関(38万人)、介護老人保健施設等(36万人)、グループホーム(14万人)、特定施設(10万人)=合計280万人</p>

	<p>問題 79 Cさん(89歳, 女性)はアルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)で, 1年前から料理の手順を間違えたり, 家計の管理や買物が難しい状態であった。1か月前から大声をあげるようになった。季節に合った衣服を選べなくなったが, 家族が準備すれば適切に着ることはできる。排泄は自立している。</p> <p>Cさんのアルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)のFunctional Assessment Staging(F A S T)の分類として, 最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <p>1 年齢相応 2 境界状態 3 軽度 4 中等度 5 やや高度</p>	<p>④</p> <p>臨床診断における「中等度のアルツハイマー型」の「FASTにおける特徴」は、「介助なしでは適切な洋服を選んで着ることができない, 入浴させるときにもなんとかなだめすかして説得することが必要なこともある」と明記されている</p>
	<p>問題 80 Dさん(80歳, 男性)は一人暮らしで, 生活は自立していた。毎朝近所の公園でラジオ体操に参加していたが, 2か月ほど前から, 物忘れとぼうっとする様子が見られるようになった。また, 歩行が不安定となり, 最近では尿意を我慢できず失禁がある。</p> <p>Dさんの状態として, 最も可能性の高いものを1つ選びなさい。</p> <p>1 軽度認知障害(mild cognitive impairment) 2 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type) 3 正常圧水頭症(normal pressure hydrocephalus) 4 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia) 5 血管性認知症(vascular dementia)</p>	<p>③</p> <p>「特発性正常圧水頭症」には, ①認知障害, ②歩行障害, ③尿失禁の3徴候がある</p>
	<p>問題 81 認知症(dementia)の原因となる疾患の特徴として, 最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <p>1 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)では, 早期から尿失禁が認められる。 2 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)では, 果症状は見られない。 3 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)では, 人格が大きく変化する。 4 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)では, 運動機能障害は見られない。 5 クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease)では, 進行が速く, 1年以内の死亡例も多い。</p>	<p>⑤</p> <p>クロイツフェルト・ヤコブ病は, 治癒不可能で, 進行を遅らせることもできず, 通常は, 数カ月もしくは1~2年以内に死に至るとされる</p>

	<p>問題 82 外科的手術で治療が可能な認知症(dementia)として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 血管性認知症(vascular dementia) 2 クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease) 3 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia) 4 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies) 5 慢性硬膜下血腫(chronic subdural hematoma) 	<p>⑤ 慢性硬膜下血腫では、脳に溜まった血腫を除去すれば脳は正常な状態に戻る</p>
	<p>問題 83 行動・心理症状(BPSD)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 徘徊は、認知症(dementia)であれば誰にでも起こる。 2 もの盗られ妄想は、記憶障害とは関係がない。 3 幻視に関して、本人の訴えの内容ははっきりしない。 4 興奮は、ケアの方法によって生じることがある。 5 混乱は、重度の認知症(dementia)の人には見られない。 	<p>④ 「適切なケアが提供されていない事例では、身体接触ができず、易刺激性、焦燥、興奮が増強し、暴言、暴力、拒絶、介護への抵抗などに発展することが多い」とされている</p>
	<p>問題 84 Eさん(88歳、女性)は、血管性認知症(vascular dementia)で左片麻痺<small>ひだりかたまひ</small>がある。穏やかな性格である。認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居し、グループホームでの役目として、食事前の挨拶を担当している。しかし、夏の暑さが続いたとき、食事前の挨拶の後「こんなことはやらせないで」と理由もなく急に泣きだすことがあった。介護福祉職が受容的な態度で接していると、Eさんは笑顔で「ご苦労様」と介護福祉職に声をかけるようになった。</p> <p>このようなEさんについて考えられることとして、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 睡眠不足による感情の変化 2 認知症(dementia)の急激な進行 3 感情失禁の症状 4 暑さによる中核症状の悪化 5 職員の対応に対する怒り 	<p>③ 脳血管性認知症の症状には、感情をコントロールできず、ちょっとしたことで泣いたり、怒ったりする「感情失禁」がある</p>

	<p>問題 85 初期の認知症(dementia)で、家賃の支払を忘れて、家主から督促される ことが多くなった人に対する支援者として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民生委員 2 訪問介護員(ホームヘルパー) 3 訪問看護師 4 日常生活自立支援事業の専門員 5 通所介護(デイサービス)の介護福祉職 	<p>④ 社会福祉協議会が実施している「日常生活自立支援事業」の専門員は、「悩みごとの相談を受けて、本人の意向をもとに適切な支援計画を作成し、ご契約を交わし、常に利用者との意思疎通をはかり支援する」とされている</p>
	<p>問題 86 在職中に若年性認知症(dementia with early onset)になった人とその家族の支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 支援の主な対象は、介護負担が集中する子ども世代である。 2 高齢者の認知症(dementia)と対応に違いはないことを家族に説明する。 3 雇用保険制度や障害福祉サービス等を組み合わせて利用できるように支援する。 4 本人の年齢に関係なく、初回の面談で介護保険の利用を勧める。 5 本人が退職して治療に専念できるように支援する。 	<p>③ 「若年性認知症を発症する世代は働き盛りであり、社会や家庭で重要な役割を果たしていることから、高齢者で発症する認知症とは異なる様々な社会的・家庭的な問題を引き起こします。子どもの養育や親の介護が重なることもあり、また、離職で収入が断たれるなど経済的にも困窮することにつながります。」(若年性認知症支援ガイドブック)</p>
<p>障害の理解</p>	<p>問題 87 障害者の権利に関する条約で、国際条約上初めて取り上げられた概念として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 完全参加と平等 2 ノーマライゼーション(normalization) 3 障害の予防 4 共生社会 5 合理的配慮 	<p>⑤ 「合理的配慮」とは、障害者権利条約で定義された新たな概念であり、「障害者の人権と基本的自由及び実質的な機会の平等が、障害のない人々と同様に保障されるために行われる「必要かつ適当な変更及び調整」であり、障害者の個別・具体的なニーズに配慮するためのものである。」と説明されている</p>

	<p>問題 88 以下の疾患や状態のうち、図で示した装具を使用するものとして、正しいものを1つ選びなさい。</p>  <p>1 閉塞性動脈硬化症 (arteriosclerosis obliterans) ひこっしんけいまいり</p> <p>2 腓骨神経麻痺 (peroneal nerve paralysis) へんけいせいしつかんせつしよう</p> <p>3 変形性膝関節症 (knee osteoarthritis)</p> <p>4 パーキンソン病 (Parkinson disease) かたいせつだん</p> <p>5 下腿切断 (lower extremity amputation)</p>	<p>②</p> <p>腓骨神経麻痺では、下垂足となり、歩行時につまずいて転ぶリスクが高まる</p>
	<p>問題 89 高次脳機能障害 (higher brain dysfunction) の注意障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。</p> <p>1 同時に2つ以上のことに気配りできない。</p> <p>2 突然興奮したり、怒りだしたりする。</p> <p>3 日常生活を計画して実行できない。</p> <p>4 物の置き場所を忘れる。</p> <p>5 1つのことにこだわって他のことができない。</p>	<p>①</p> <p>高次脳機能障害の「注意障害」では、「1度に2つ以上のことをしようとする」と混乱する、「長時間一つのことに集中できない」、「片側にあるものだけを見落とす」等の症状がある</p>
	<p>問題 90 ダウン症候群 (Down's syndrome) の症状として、最も頻度の高いものを1つ選びなさい。</p> <p>1 難聴</p> <p>2 筋緊張の亢進 こうしん</p> <p>3 高次脳機能障害</p> <p>4 片麻痺 かたまひ</p> <p>5 腎障害</p>	<p>①</p> <p>ダウン症児の難聴の出現頻度は、1960年以降、研究者間により異なるが、40～70%とされている</p>

	<p>問題 91 自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder)のある人への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 こだわり行動に対しては、介入しない。 2 不適切な行動をとっているときは、強く制止する。 3 予定の変更があるときは、メモや絵を使って、予告する。 4 情報を伝えるときには、一度に多くの情報を提供する。 5 パニックを引き起こす事柄を克服できるような訓練をする。 	<p>③</p> <p>関わり方の一つに、「活動の流れを視覚的に伝えること」がある。見通しが持てないと不安になることから、活動の内容や予定を絵や写真で説明するなど、目で見て分かりやすくすることが有効である</p>
	<p>問題 92 嚥下障害を引き起こす難病として、適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 潰瘍性大腸炎(ulcerative colitis) 2 悪性関節リウマチ(malignant rheumatoid arthritis) 3 筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis : ALS) 4 クロウン病(Crohn disease) 5 広範脊柱管狭窄症(extended spinal stenosis) 	<p>③</p> <p>舌や咽頭筋が萎縮し、呂律が回らない構音障害や、飲み込めない嚥下障害などの症状が発現する</p>
	<p>問題 93 すくみ足の症状が見られる疾患として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 パーキンソン病(Parkinson disease) 2 脊髄小脳変性症(spino cerebellar degeneration) 3 デュシェンヌ型筋ジストロフィー症(Duchenne muscular dystrophy) 4 脳性麻痺(cerebral palsy) 5 脊髄損傷(spinal cord injury) 	<p>①</p> <p>進行したパーキンソン病患者の30%~60%に「すくみ足」は起きるとされる</p>
	<p>問題 94 呼吸機能障害のある人が日常生活で工夫すべきこととして、適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 かぶり式の上着を着る。 2 湯船には肩までつかる。 3 食事の回数を減らす。 4 洋式便器を使用する。 5 すばやく歩く。 	<p>④</p> <p>呼吸困難は、疾患の悪化のみによって生じるだけでなく、生活習慣や行動から引き起こされる場合もある</p>

	<p>問題 95 「障害者総合支援法」に基づく地域生活支援事業の内容として、適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己判断能力が制限されている人の行動を支援する。 2 常に介護が必要な人に、創作的活動の機会を提供する。 3 就労を希望する人に、必要な訓練を行う。 4 円滑に外出できるように、移動を支援する。 5 自立した日常生活ができるように、必要な訓練を行う。 <p>(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。</p>	<p>④ 地域生活支援事業の市町村事業には、「移動支援」(屋外での移動が困難な障害のある人について、外出のための支援を行う)がある</p>
	<p>問題 96 Fさん(47歳、男性)は、重度の知的障害(障害支援区分3)があり、母親の世話を受けながら自宅で暮らしている。母親が高齢になったこともあって、Fさんは、障害福祉サービスを利用して、介護福祉職と一緒に病院へ通院することになった。</p> <p>Fさんが利用する障害福祉サービスとして、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行動援護 2 同行援護 3 生活介護 4 療養介護 5 自立訓練 	<p>① 障害者総合支援法のサービスには、「行動援護」(自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う)がある</p>
<p>こころとからだのしくみ</p>	<p>問題 97 Gさん(84歳、女性)は、訪問介護(ホームヘルプサービス)を受けながら自宅で一人で生活していた。2か月前、在宅中に大雨による土砂崩れで自宅の半分が埋まってしまったので、介護老人保健施設に入所した。入所後のGさんはイライラすることが多くなり、入眠障害が見られるようになった。また、夜間に突然覚醒し、大声で介護福祉職を呼ぶことがたびたびあった。</p> <p>現在のGさんの状態を表す用語として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 退行 2 見当識障害 3 フラストレーション(frustration) 4 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type) 5 心的外傷後ストレス障害(posttraumatic stress disorder : PTSD) 	<p>⑤ 心的外傷後ストレス障害(PTSD)は、強烈なショック体験、強い精神的ストレスが、こころのダメージとなって、時間がたってからも、その経験に対して強い恐怖を感じるものである</p>

	<p>問題 98 マズロー(Maslow, A.H.)の欲求階層説における最上層の欲求を表現する発言として、適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「おながすいたので食事をしたい」 2 「会社で上司から認められたい」 3 「心の中を打ち明けられる親友がほしい」 4 「平和な社会をつくりたい」 5 「家族の待つ家に帰りたい」 	<p>④ 「自己実現欲求」は、「自分の持つ能力や可能性を最大限発揮し、「あるべき自分」になりたいという欲求」と説明される</p>
	<p>問題 99 口腔の清潔が保てなくなる原因として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 過食 2 口内炎(stomatitis) 3 唾液の増加 4 菌垢<small>しこう</small>の除去 5 咳反射<small>がいはんしゃ こうしん</small>の亢進 	<p>② 粘膜の抵抗力低下と口腔細菌の増加による炎症が原因で、「口内炎」や「歯肉炎」の症状が出る</p>
	<p>問題 100 「日常生活動作(Activities of Daily Living : ADL)」に分類されるものとして、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 買物 2 料理 3 洗濯 4 乗り物利用 5 入浴 <p>(注) 「日常生活動作(Activities of Daily Living : ADL)」は、基本的ADL (Basic Activities of Daily Living : BADL)と言われることがある。</p>	<p>⑤ ADL は、食事、排泄、整容、移動、入浴等の基本的な行動をさす</p>
	<p>問題 101 廃用症候群(disuse syndrome)で起こる可能性のある病態とその対策の組合せとして、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 筋萎縮<small>きんいしよく</small> _____ 日光浴 2 関節拘縮 _____ 運動制限 3 深部静脈血栓症(deep vein thrombosis) _____ 離床 4 褥瘡<small>じよくそう</small> _____ 安静 5 せん妄(delirium) _____ 入院 	<p>③ 深部静脈血栓症の対策は、早期離床と下肢の運動(自動、他動)とされている</p>

	<p>問題 102 1g 当たりのエネルギー発生量が最も多い栄養素として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <p>1 たんぱく質 2 糖質 3 脂質 4 ビタミン(vitamin) 5 無機質(ミネラル(mineral))</p>	<p>③ 三大栄養素の 1g あたりエネルギー発生量は、たんぱく質 4kcal, 脂質 9kcal, 炭水化物 4kcal である</p>
	<p>問題 103 脱水に伴う症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <p>1 浮腫 2 活動性の低下 3 低体温 4 多尿 5 皮膚の湿潤</p>	<p>② 脱水症の初期症状は、「なんとなく元気がなくなる(活動性が低下する)」「微熱がでる」「皮膚が乾燥する」「唾液分泌量が減少し、口渇感をおぼえる」などである</p>
	<p>問題 104 38~41℃の湯温での入浴が身体に与える影響として、適切なものを1つ選びなさい。</p> <p>1 血圧の上昇 2 心拍数の増加 3 膀胱の弛緩 4 消化機能の亢進 5 筋緊張の亢進</p>	<p>④ 30 度以下の低温浴や冷浴は胃酸の分泌を刺激し、42 度以上の高温浴では胃酸の分泌を抑制すると言われる</p>
	<p>問題 105 小腸の一部として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <p>1 盲腸 2 空腸 3 S 状結腸 4 上行結腸 5 直腸</p>	<p>② 空腸は、小腸全体の 2/5 を占め、絨毛は、小腸全体で約 500 万本ある</p>

	<p>問題 106 尿意を感じて我慢できずに失禁してしまう排尿障害として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 切迫性尿失禁 2 腹圧性尿失禁 3 溢流性尿失禁 <small>いっりゅうせいにようしっせきん</small> 4 反射性尿失禁 5 完全尿失禁 	<p>① 「切迫性尿失禁」では、急に尿がしたくなり(尿意切迫感)、我慢できずに漏れてしまう</p>
	<p>問題 107 睡眠を促進するホルモン(hormone)として、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 バソプレッシン(vasopressin) 2 エストロゲン(estrogen) 3 メラトニン(melatonin) 4 インスリン(insulin) 5 コルチゾール(cortisol) 	<p>③ メラトニンは、「睡眠ホルモン」の一種である。メラトニンが分泌されると、脈拍、体温、血圧などが低下し、眠りに入っていく</p>
	<p>問題 108 Hさん(92歳、女性)は、老衰が進行して寝たきり状態にある。ここ1か月間経口摂取はごく少量で著しくやせて、肺炎(pneumonia)も併発している。かかりつけの医師から家族に対して予後は1週間以内だろうという説明があり、このまま自宅^{みと}で看取る方針が家族との間で合意された。</p> <p>介護福祉職がサービスを提供しているとき、Hさんが急変した場合に第一に相談すべき連絡先として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 かかりつけ医 2 警察 3 消防署 4 介護支援専門員(ケアマネジャー) 5 サービス提供責任者 	<p>① 日本医師会は、2012年、「かかりつけ医」とは(1)医学的機能と(2)社会的機能を併せ持つ医師と定義づけた。(2)社会的機能とは、地域住民と信頼関係を構築し、地域医療、地域保健などの社会的活動、行政的活動に参加し、福祉や介護と連携し、患者が地域で生活できるように在宅医療にも取り組むこと等であると定義した</p>

<p><総合問題> 総合問題 (総合問題1)</p>	<p>次の事例を読んで、問題 109 から問題 111 までについて答えなさい。</p> <p>[事例]</p> <p>Jさん(56歳, 男性)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で、^{ひざりかたまひ}左片麻痺と高次脳機能障害(higher brain dysfunction)があるために、障害者支援施設に入所して、車いすでの生活をしている。Jさんは、現在の施設に作業活動がないことを不満に思っていて、たびたび、妻に「職業訓練や収入を得ることが目的ではなく、のんびりと楽しみながら作業がしたい」と話している。妻はどうしたらよいか分からず介護福祉職に相談した。介護福祉職は、Jさんが利用できるプログラムについて検討した。その結果、Jさんに合った創作的活動を取り入れたプログラムを実施することになった。</p>	
	<p>問題 109 Jさんが利用している日中のサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 重度訪問介護 2 就労移行支援 3 居宅介護 4 就労継続支援A型 5 生活介護 	<p>⑤ 障害者支援施設において、主に昼間に行うサービスは、①入浴、排せつ、食事等の介助、②調理、洗濯、掃除等の家事、③生活等に関する相談、助言、④その他日常生活上の支援、⑤創作的活動、生産活動の機会の提供、⑥身体機能や生活能力の向上のために必要な援助、である</p>
	<p>問題 110 Jさんは、創作的活動に参加したが、その作業手順が複雑になると、何からやればよいのか分からなくなって、計画的に作業を進めることができない。</p> <p>作業をしているときのJさんの状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 遂行機能障害 2 半側空間無視 3 構音障害 4 知的障害 5 記憶障害 	<p>① 「遂行機能障害」の症状は、「約束の時間に間に合わない」「仕事が約束どおりに仕上がらない」「どの仕事も途中で投げ出してしまう」「記憶障害を補うための手帳を見ると、異なる場所書いている」「これまでと異なる依頼をすると、できなくなってしまう」等である</p>

	<p>問題 111 Jさんは昼食の時に上着を汚したので、居室で着替えようとしていた。Jさんは、上着を手にしたまま、どうすればよいのか分からなくなった。</p> <p>このときのJさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 着替えていないことを注意する。 2 着替えるまで待つ。 3 着替えができない理由を聞く。 4 着替えの動作のきっかけをつくる。 5 着替えの手順を細かく指示する。 	<p>④</p> <p>一定の過程で失敗が起こる場合、その部分を介助する</p>
<p>(総合問題2)</p>	<p>次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。</p> <p>〔事例〕</p> <p>K君(7歳、男性)は、3歳の時に不随意運動型(アテトーゼ型(athetosis)^{のうせいまひ})脳性麻痺(cerebral palsy)と診断された。頸部や体幹をねじらせたり、反らせたり、上肢が伸展する運動が自分の意志とは関係なく起こってしまう不随意運動型特有の症状が現れていた。時々、筋肉の緊張が強くなり、体幹や上肢の不随意運動が大きくなることもあった。知的障害は見られず、車いすを使って、近所の小学校へ通学していた。登校・下校のときだけ母親が付き添って、教室内では車いすを何とか自分で操作して過ごしていた。言葉は努力性の発語で、聞き取りにくく、同級生と意思疎通が困難なことがしばしばあったが、慣れ親しんだ友達との会話は可能であった。</p>	
	<p>問題 112 K君の状態に適した車いすとして、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 普通型車いす 2 電動普通型車いす 3 片手駆動式普通型車いす 4 手動リフト式普通型車いす 5 リクライニング・ティルト式普通型車いす 	<p>⑤</p> <p>「アテトーゼ型は脳性麻痺の小児の約 20%にみられ、脳から通常の制御を受けず、筋肉が不随意的にゆっくりと動きます。腕や脚、胴体の動きは、よじれるように動く場合や突然動く場合、ピクピクと動く場合などがあります。この動きは強い感情が起こると激しくなり、睡眠中には生じません。アテトーゼ型の小児では、一般に知能は正常で、けいれんを起こすのはまれです。言葉をはっきりと普通に</p>

		<p>発音することが困難な例がよくみられ、しばしば深刻な場合があります。核黄疸によって生じたアテトーゼ型脳性麻痺の小児では、一般に感音難聴がみられ、上を向くのが困難です。」(脳性麻痺(CP):メルクマニュアル 家庭版)</p>
	<p>問題 113 K君の小学校の夏休みが近づいた。母親は夏休み中にK君が人との交流を持てる場所がないか、K君が幼少の時から介護方法について相談していた介護福祉士であるL相談支援専門員に相談した。</p> <p>L相談支援専門員が提案するサービスとして、適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移動支援事業 2 福祉型障害児入所施設 3 保育所等訪問支援事業 4 放課後等デイサービス 5 医療型障害児入所施設 	<p>④</p> <p>「放課後等デイサービス」の対象者は、「学校教育法に規定する学校(幼稚園、大学を除く)に就学している障害のある児童であり、サービス内容は、①自立した日常生活を営むために必要な訓練、②創作的活動、作業活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供等で、本人が混乱しないよう学校と放課後等デイサービスのサービスのサービスの一貫性に配慮しながら学校との連携・協働による支援を行う」とされる</p>

	<p>問題 114 K君は2年生になった。4月にクラス替えて、新しい同級生が多くなり、K君の言葉が分からないという理由で関係がうまくいかなくなった。そのため、K君の筋肉の緊張は今までよりも強くなり、不随意運動も大きくなった。給食の時に食べ物をうまく口に運べなくて、担任の先生が介助する場面が増えてきた。担任の先生から、この状況を聞いた母親は心配になって、K君の学校での食事について、L相談支援専門員に相談をした。</p> <p>L相談支援専門員の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クラスの同級生と会話をしながら食事をする。 2 自助具を使用して自力で食べる。 3 リラックスできる環境を作って、自力で食事ができるように支援する。 4 途中まで自力で食べてもらって、その後は介助する。 5 仲の良い友達を選んで、食事介助をしてもらう。 	<p>③</p> <p>緊張感が自力での食事に影響及ぼしていることが考えられるので、自力で食事することを課題とした心理的な支援と環境の整備を行う</p>
<p>(総合問題3)</p>	<p>次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。</p> <p>[事 例]</p> <p>Mさん(71歳、女性)は、仕事を持つ息子と二人で生活している。最近、鍋を焦がすことがあったり、買物をして家に帰れなくなったりすることがあった。心配した息子が受診させたところ、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。要介護認定で要介護1となり、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。</p> <p>Mさんは、訪問介護員(ホームヘルパー)と息子以外の人との接触はなく、テレビの前で過ごしていることが多い。心配した息子は、通所介護(デイサービス)を勧めたが、一人で通うことが不安で、利用を拒んでいた。このままだと認知症(dementia)が悪化するのではないかと息子の不安が大きくなっていった。</p>	
	<p>問題 115 息子は、Mさんが少しでも多く外出して、人と話すような機会を設けたいと考えて、訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。</p> <p>次のうち、Mさんが息子と一緒に利用できるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認知症カフェ 2 生活支援ハウス 3 地域活動支援センター 4 通所リハビリテーション 5 就労継続支援B型 	<p>①</p> <p>「認知症カフェ」は、「認知症 5 年計画(オレンジプラン)」(2013 年度～2017 年度) < 2015 年に「新オレンジプラン」に変更 > において、「認知症の人やその家族等に対する支援として、認知症カフェの普及などにより、認知症の人やその家族等に対する支援を推進する」と位置づけられ</p>

		ている
	<p>問題 116 Mさんは、訪問介護員(ホームヘルパー)と一緒に調理していたが、最近、途中で動作が止まってしまうことがあった。</p> <p>調理の途中で、動作が止まってしまうMさんへの支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本人が調理動作を行うまで待つ。 2 本人に代わって調理を行う。 3 ジェスチャーを使って調理動作のヒントを出す。 4 調理動作が楽にできる自助具を用意する。 5 調理動作の手順書を渡して覚えてもらう。 	<p>③</p> <p>動き方わからず躊躇している時には、ジェスチャーで伝えることも有用であるとされる</p>
	<p>問題 117 息子は、Mさんへの適切な支援方法について訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。</p> <p>息子に対する訪問介護員(ホームヘルパー)の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Mさんを認知症対応型共同生活介護(グループホーム)へ入居させるように勧める。 2 Mさんを買物をさせないようにする。 3 Mさんと一緒にテレビを見るように勧める。 4 Mさんが失敗したらそのたびに指摘する。 5 Mさんのできることを見つけて、一緒に行うように勧める。 	<p>⑤</p> <p>本人にできることは多く残っているため、家庭内で本人の役割や出番を作って、一緒にすることは重要である。例えば、片づけや掃除を一緒にするなど考えられる</p>
(総合問題4)	<p>次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。</p> <p>〔事例〕</p> <p>Aさん(70歳、女性)は、20年前に2型糖尿病(diabetes mellitus, type2)を発症して、8年前から血糖値の自己測定とインスリン(insulin)の自己注射を朝食前に行っている。4年前から変形性膝関節症<small>へんけいせいしつかんせつしょう</small>(knee osteoarthritis)が悪化して車いすの生活となり、自宅での生活が少しずつ困難になった。要介護3と認定されて、2年前に介護老人福祉施設に入所した。入所後も、血糖値の自己測定とインスリン(insulin)の自己注射は介護福祉職の見守りのもとに行っていて、空腹時血糖値は120~150 mg/dlでコントロールされていた。</p> <p>ある日の夜中に数回にわたって下痢便が見られ、起床時には嘔吐<small>おうと</small>し、腹痛と発熱が見られた。</p>	

	<p>問題 118 Aさんに確認すると、2日前に知人と外出して貝を生で食べたことが分かった。その後も嘔吐、腹痛が止まらないので、ノロウイルス(Norovirus)の感染が疑われた。</p> <p>原因が分かるまでの間、施設内感染の対策で、Aさんの吐物を拭き取るときに用いるものとして、正しいものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ぬるま湯 消毒用エタノール溶液 ベンザルコニウム塩化物溶液 次亜塩素酸ナトリウム溶液 クロルヘキシジングルコン酸塩溶液 	<p>④ ノロウイルスの消毒液には、次亜塩素酸ナトリウムを使用する</p>
	<p>問題 119 朝食前に介護福祉職がAさんの様子を観察すると、冷や汗、動悸、めまいなどの症状はなく、血糖値は130 mg/dlであった。Aさんは、嘔気、腹痛があり食欲がないと訴えた。</p> <p>看護職に報告するまでの間に、介護福祉職がAさんに説明する内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> インスリン(insulin)の量を増やして、自己注射をする。 インスリン(insulin)の量を減らして、自己注射をする。 インスリン(insulin)の自己注射をして、朝食を食べる。 インスリン(insulin)の自己注射をしないで、朝食を食べる。 インスリン(insulin)の自己注射をしないで、朝食を食べない。 	<p>⑤ 「冷や汗・同期・めまいがなく、血糖値 130mg/dl、おう吐・腹痛がある」状況から、「インスリン注射を打たないで、朝食を食べないと説明した」のは適切である</p>
	<p>問題 120 Aさんの症状は、治療を受けて1週間ほどで回復した。しかし、その後、ぼんやりとした表情で過ごすことが多くなり、何事にもやる気がない様子で、「つらいから死にたい」と口にすることが多くなった。</p> <p>Aさんの訴えに対する介護福祉職の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「つらいことは考えない方がいいですね」 「死にたいぐらい、つらいですね」 「死にたいと言うと、つらい気持ちが強くなりますね」 「死にたいと言うと、周りの人もつらくなりますね」 「つらいことよりも楽しいことを考えるといいですね」 	<p>② 利用者が明らかにまたは暗に表現した感情の内容を、利用者に返すという「感情の反映・反射」の技法が適切である</p>